

## 区市町村の避難施設への Air ソーラー導入を支援します！

～Air ソーラー区市町村導入支援事業のお知らせ～

東京都は、「薄く、軽く、曲がる」という特徴を持った日本生まれの太陽電池である「Air ソーラー※」の普及拡大に向け、「2035 年における都内導入目標約 1 GW」を掲げています。

令和 8 年度から新たに、区市町村等による避難施設への「Air ソーラー」設置に対する支援を開始します。

### ■助成対象事業者

都内の区市町村、一部事務組合及び広域連合  
区市町村等と共同して助成対象事業を実施する者

### ■助成額

Air ソーラーの設置に係る助成対象経費（調査・設計費、設備費、工事費）の 4 分の 3 の額  
（上限額：3,000 万円）

### ■主な助成要件

- ・条件を満たす Air ソーラーを設置すること（条件の詳細は事業HPを参照）
- ・事業内容や発電量等について情報提供が可能であること
- ・実施内容に関する情報発信を都と連携して行うこと

### ■申請受付期間

令和 8 年 9 月 17 日（木曜日）から令和 9 年 3 月 31 日（水曜日）まで（申請総額が予算額に達した時点で終了）

### ■事業期間

令和 8 年度及び令和 9 年度（令和 9 年度は助成金の交付のみ）

### ■予算額

3,600 万円

### ■申請受付窓口

（公財）東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）

### ■事業HP

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/airsolar-secchi-kscs/>



### ※Air ソーラーについて

ペロブスカイトと呼ばれる結晶構造を用いた太陽電池です。

シリコン系太陽電池に比べ、以下の特徴を有し、シリコン系太陽電池に対して高い競争力が期待されています。

- ①「薄く軽くフレキシブル」であるため、設置対象の場所の範囲が広がる
- ②製造技術開発によって大量生産、製造コストの低下の可能性が有る
- ③日本発の技術であるほか、主原料のヨウ素は、世界産出量の約 30%が日本国内産である

本件は、「[2050 東京戦略](#)」を推進する取組です。  
戦略 20 ゼロエミッション「再生可能エネルギーの基幹エネルギー化」



▲2050 東京戦略

〔問い合わせ先〕

＜助成制度について＞

東京都環境局気候変動対策部

計画課 藤木

TEL：03-5000-8419

＜申請受付について＞

公益財団法人東京都環境公社

東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)

事業支援担当 岩波

TEL：03-5990-5329